



分教室だより
2025. 7. 18
No. 4

分教室

「自分へのチャレンジ」

川西カリヨンの丘特別支援学校長 堀井 美佐

「失敗したらどうしよう」「自分にはできない」そんなふうに思ったことはありませんか？そしてそのまま一步を踏み出せないまま、諦めてしまったことはありませんか？誰でもみんな「恐怖」や「プレッシャー」を感じながら歩んでいます。

一生懸命がんばってやりきったとき、急に涙があふれてきたことはありませんか？緊張感から解放されてホッとした、どうしようもなくこらえていた気持ちがあふれてきた、できた・やりきったことへの嬉しさなど、いろんな感情が複雑にからみあって一筋の涙として、また大粒の涙として流れることができます。

学校生活では、楽しいこと、自分で好きなことを選択できる活動、得意な教科などがあって、みんなの前で褒められたり、ワクワクしてあっという間に時間が過ぎたりすることがあります。逆に、苦手なこと、はじめてでどうすればいいのかわからなくなる瞬間、どうしても乗り越えなければならない場面など、迷い、不安で逃げ出したくなることがあります。

そのまま立ち止まつていては、「はじめてのこと」「苦手なこと」はいつまでも「はじめて」で「苦手な」ことのままでです。勇気を出して一步を踏み出し、「経験」することで不安が解消されたり、できることが増えたりします。時に、失敗や挫折に遭遇することもありますが、この経験が自信となって次へのステップの原動力となり、可能性が膨らみます。経験することで物事の見通しや予測を立てることができます。

がんばってやりきった達成感によってあふれ出す涙を、次へのステップへとつなげていきましょう。「できなかった」「踏み出せなかった」一步を「やってみる」「踏み出す」自分へチャレンジできるようにしてほしいと思います。みなさんには、勇気をくれる仲間がいます、支え励ましてくれる先生がいます。自分を信じて、明日への一步へチャレンジできるようになってほしいと願っています。

保護者のみなさま、暑くて長い夏休み、温かく大きく包みこんでいただき、生徒たちが9月新たに歩み出せるようご支援をお願いいたします。

～お知らせ～

分教室3年担任の梶山拓也先生が7月末で退職されます。これまでのご指導に感謝申し上げます。後任の先生につきましては、決まり次第お伝えします。